

# 「国際移住者デー2019」

## ユースの目線から見る移民社会にほん

国際移住者デーは、1990年12月18日に国連にて「すべての移住労働者およびその家族の権利の保護に関する国際条約」が採択されたことを記念して定められました。日本でも本条約の批准が早期に求められています。この条約採択を記念したイベントとして、移住連ボランティアユースによる企画として、多様なルーツを持つ子ども・若者が日本社会で暮らす上で直面する困難や課題について知り、考えるイベントを開催します。「若者の目線」から多様化する日本の移民社会について学んでみませんか？

### 第1部 トーク

ご自身も外国にルーツを持ちながら日本で暮らし、現在は音楽活動などを中心に大活躍されている矢野デイビットさんをお迎えし、多様化する日本社会、そこに暮らす方々に向けてメッセージを頂きます。



矢野デイビットさん（ミュージシャン・Enije 代表・明星大学客員講師）

日本人の父とガーナ人の母との間にガーナで生まれる。6歳の時、ガーナで集団強盗に一家が襲われたことをきっかけに日本へ移住。8歳～18歳まで児童養護施設で育つ。学生時代からモデルやCMの仕事を始め、その傍ら、好きだったピアノを通して音楽活動を行う。現在ではソロ活動のほか、元Jリーガーで作詞作曲家の兄と、薬剤師の弟とのヴォーカルユニットYANO BROTHERSとしてもライブ活動を展開。NHK・Eテレ「ハートネットTV」、日テレ「チカラウタ」などにも出演。25歳の時、ガーナでのとあるストリートチルドレンとの出会いをきっかけに「誰にも守ってもらえない子供たちを守りたい」という想いを抱く。自立支援団体Enijeを設立。2012年に一般社団法人化し、教育を柱にガーナで学校建設や教育する側の教育、運動会やサッカー大会を行いながら支援を続けている。支援とは自尊心を育てることという信念のもと、現地のコミュニティと自立に向けた活動を行う。また国内では楽しんだ代価をチャリティーにする味の素スタジアムでのチャリティーフットサルイベント等を主催。

### 第2部 クイズ・リレートーク・オープンディスカッション

日本に暮らす多様なルーツを持つ子ども・若者が直面する困難に関するクイズを通して、体を動かしながら学びます。その後、日本に暮らす経験を持つ数名の方からのトークを踏まえ、フロア全体で、私たちにできることを考えます。

### 第3部 交流会

メインセッションを通してつながった方々と一緒に楽しく過ごす交流会です。

◆日時：2019年12月7日(土)13:30-17:00 (開場13:15)

◆会場：在日本韓国YMCA 9階

(東京都千代田区神田猿樂町2-5-5)



参加費：一般1000円、学生500円、高校生以下 無料

参加申込：以下のフォームかQRコードよりお申込下さい。

[HTTPS://FORMS.GLE/FBNU5ENGPX8IUJMM7](https://forms.gle/FBNU5ENGPX8IUJMM7) (11/29締切)

※メールやFAXでも受付中。定員に達し次第受付終了

【問い合わせ】

主催：NPO法人 移住者と連帯する全国ネットワーク

東京都台東区上野1-12-6 3階

TEL. 03-3837-2316 FAX. 03-3837-2317 Email. [smj\(at\)migrants.jp](mailto:smj(at)migrants.jp)

